

# EZTools 3.0

## ユーザマニュアル

ユーザマニュアル: V1.00

# 免責条項と安全警告

## 著作権宣言文

©2023 Zhejiang Uniview Technologies Co., Ltd. 無断複写転載等を禁ず。

Zhejiang Uniview Technologies Co., Ltd（以後「Uniview」または「当社」と称する）からの書面による事前の許可なく、いかなる形式または手段でも、本マニュアルの全体または一部を複写・複製・翻訳・配布することは一切できません。

本書に記載の製品には、Uniview およびその他のライセンサーが所有する占有ソフトウェアがインストールされていることがあります。Uniview およびそのライセンサーからの許可なく、ソフトウェアを、いかなる方法でも、複写、配布、要約、逆コンパイル、逆アセンブル、解読、リバースエンジニアリング、貸与、転送、サブライセンスしてはなりません。

## 商標に関する確認

 **uniview** は Uniview の商標または登録商標です。

本書のそれ以外の商標、製品、サービス、企業名、および、本書に記載されている製品名は、すべて、それぞれの所有者に帰属します。

## 輸出準拠宣言文

Uniview では、中華人民共和国およびアメリカ合衆国を含む世界中の輸出管理法規や規則、ならびに、ハードウェア、ソフトウェア、技術の輸出、再輸出、転送に関連する規則を遵守しています。本書に記載の製品に関して、Uniview では、世界中の関連輸出法規や規則を理解し遵守するよう、お客様にお願いしています。

## プライバシー保護に関する通知

Uniview では、プライバシー保護法を遵守し、使用者のプライバシーを保護する努力を行っています。個人情報の取扱についてお知りになりたい場合は、当社サイトに記載のプライバシーポリシーの全文をお読みください。本書に記載の製品を使用する際には、顔、指紋、ナンバープレート番号、メールアドレス、電話番号、GPS などの個人情報が収集されることがあります。本製品を使用する際には、お住まいの地域の法規や規則を遵守してください。

## 本書について

- 本書には複数の機種が説明されており、掲載の写真、図、説明文等は、実際の製品の外観や機能やフィーチャーと異なる可能性があります。
- 本書には複数のソフトウェアについて説明されており、掲載の図や説明文は、実際の GUI やソフトウェアの機能と異なる可能性があります。
- 内容の正確性を期するよう努力しておりますが、技術的な誤りや誤植が存在することがあります。Uniview はかかる誤りについて責任を負いません。また、本書の内容を予告なく変更する権利を保留しています。
- 不適切な操作によって生じる破損や損害は、すべて使用者の責任です。
- Uniview では、本書の内容を予告なく変更する権利を保留しています。製品バージョンのアップグレードや、各地域の規則の遵守などの理由で、本書は定期的に更新されます。

# 目次

免責条項と安全警告	ii
1 はじめに	1
2 デバイス管理	2
2.1 デバイスの追加	2
2.1.1 デバイスの検索	2
2.1.2 手動によるデバイスの追加	3
2.2 基本操作	4
2.2.1 デバイスの編集	4
2.2.2 デバイスの詳細の表示	4
2.2.3 クラウドサービスの設定	5
2.2.4 デバイスの Web インタフェースへのアクセス	7
2.2.5 デバイスを削除	7
2.3 アップグレード	7
2.3.1 アップグレードの設定	7
2.3.2 デバイスのアップグレード	8
2.3.3 チャンネルのアップグレード	11
2.3.4 アップグレードのキャンセル	11
2.3.5 アップグレードレポートのエクスポート	11
2.4 デバイスのパスワード変更	12
2.5 ネットワークパラメータの変更	13
2.6 設定	14
2.6.1 基本設定	14
2.6.2 高度な設定	18
2.7 システム設定	26
2.7.1 デバイスの再起動	26
2.7.2 デフォルト設定への復元	26
2.7.3 工場出荷時のデフォルト設定への復元	26
2.7.4 デバイスマンテナンス	26
2.8 デバイスリストのエクスポート	27
2.9 詳細	27

2.9.1 デバイス名の変更 .....	27
2.9.2 OSD の変更 .....	28
2.10 その他の操作 .....	29
2.10.1 デバイスパスワードのリセット .....	29
2.10.2 複数のデバイスの選択 .....	29
2.10.3 デバイスリストの更新 .....	29
2.10.4 デバイスのフィルタ .....	29
2.10.5 デバイスの並べ替え .....	30
3 NVR チャンネルの管理 .....	30
3.1 NVR チャンネルの追加 .....	30
3.2 NVR チャンネルの削除 .....	31
4 容量の計算 .....	31
4.1 計算の対象にするデバイスの追加 .....	31
4.2 保持時間の計算 .....	32
4.3 必要なディスク数の計算 .....	34
4.4 その他の操作 .....	36
5 アプリケーションセンター .....	37

# 1 はじめに

このツールは、IPC、NVR などのローカルエリアネットワーク(LAN)上の表示制御デバイスを管理および設定するために使用されます。主な機能は下表のとおりです。



## 注意！

表示制御デバイスは、ログイン、パスワードの変更、ネットワークパラメータの変更、ローカルアップグレードのみをサポートします。また、EC エンコーダはチャンネル設定をサポートします。

項目	機能
デバイスの追加	<ul style="list-style-type: none"><li>● デバイスの検索: 指定されたネットワークセグメント内のデバイスを検索します。</li><li>● 手動によるデバイスの追加: 既知の IP アドレスを持つデバイスを検索します。</li></ul>
基本操作	基本操作には以下が含まれます。 <ul style="list-style-type: none"><li>● デバイス設定の編集</li><li>● デバイスの詳細の表示</li><li>● クラウドサービスの設定</li><li>● デバイスの Web インタフェースへのアクセス</li><li>● デバイスリストのエクスポート</li></ul>
デバイスのパスワード変更	デバイスのログインパスワードを変更します。
ネットワークパラメータの変更	デバイスのネットワークパラメータを変更します。
設定	<ul style="list-style-type: none"><li>● 基本設定: デバイスの名前、システム時刻、ネットワーク、DNS、ポート、SNMP、ONVIF を設定します。</li><li>● 高度な設定: チャンネルの画像、エンコード、OSD、音声、動体検知を設定します。</li></ul>
システム設定	システム設定には以下が含まれます。 <ul style="list-style-type: none"><li>● デバイスの再起動</li><li>● デフォルト設定への復元</li><li>● 工場出荷時のデフォルト設定への復元</li><li>● デバイスマンテナンスを実行</li></ul>
アップグレード	<ul style="list-style-type: none"><li>● テンプレートファイル: さまざまなタイプのデバイスをアップグレードするには、コンピュータ上のアップグレードパッケージへのパスを指定するファイルを使用します。</li><li>● オンラインアップグレード: クラウドからアップグレードパッケージを取得し、接続済みデバイスをアップグレードします。</li><li>● ファイルアップグレード: アップグレードファイルをアップロードし、同じタイプのデバイスをアップグレードします。</li></ul>
NVRチャンネルの管理	NVR (NVRチャンネルとも言います)に接続されているカメラを追加または削除します。
容量の計算	必要なハードディスク容量、ハードディスク数、録画時間を計算します。
アプリケーションセンター	他のアプリケーションをユーザーが簡単にダウンロード、インストール、アップグレードできるポータルを提供します。

注意：開始する前に、ご使用のデバイスとこのツールを実行しているコンピュータがネットワークで接続されていることを確認してください。

## 2 デバイス管理

### 2.1 デバイスの追加

初回ログイン時、またはデバイスリストが空の場合に、ツールは PC と同じネットワークセグメント上にあるデバイスを自動的に検索し、検知したデバイスをリストします。

このセクションでは、管理および設定のためにデバイスをツールに追加する方法について説明します。手動によるデバイスの検索やデバイスの追加が可能です。

#### 2.1.1 デバイスの検索

1. **Search** をクリックします。以下のようなページが表示されます。コンピュータと同じネットワークセグメント上にあるデバイスがリストされます。



#### 注意！

検索ページは、初回ログイン時、またはデバイスが追加されていない場合に常に表示されます。

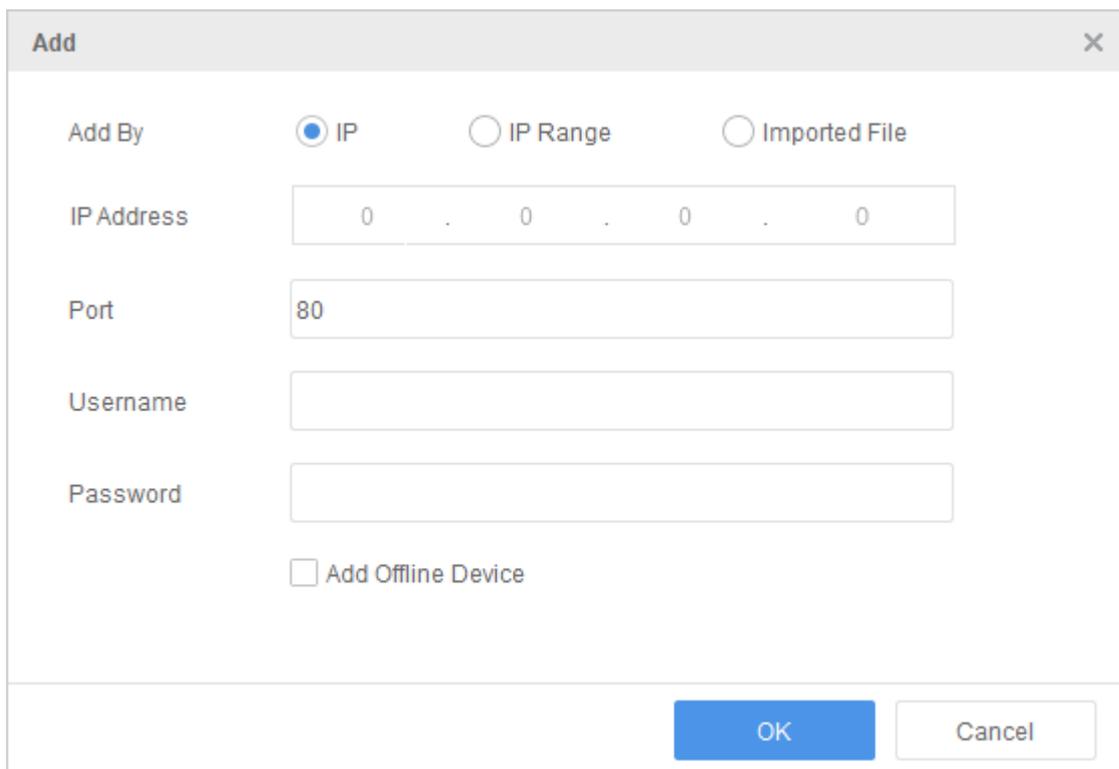
✓	Device Name	Model	IP	Port	Version	Serial No.	MAC	Status	Operation
<input type="checkbox"/>	210235C6FD322B000...	DSM3001-UH-X	192.163.1.157	80	B2102.10.0.230118			● Not Added	+ ?
<input type="checkbox"/>	NVR-S300-R24@128	NVR-S300-R24	192.163.2.89	80	NVR-B5201.37.35.230509			● Not Added	+ ?
<input type="checkbox"/>	HC161@GCN-16S	HC161	192.163.3.174	80	ITS_510108-B0028P03			● Not Added	+ ?
<input type="checkbox"/>	NVR501-16B	NVR501-16B	192.163.6.112	80	NVR-B3613.37.10.230117			● Not Added	+ ?
<input type="checkbox"/>	NVR-S300-R24@128	NVR-S300-R24	192.163.14.80	80	NVR-B5201.38.5.230613			● Not Added	+ ?
<input type="checkbox"/>	NVR516-128	NVR516-128	192.163.14.82	80	NVR-B5101.37.0.230302			● Not Added	+ ?
<input type="checkbox"/>	NVR-S300-R24@128	NVR-S300-R24	192.163.14...	80	NVR-B5201.37.25.230404			● Not Added	+ ?
<input type="checkbox"/>	NVR-S200-R16@128	NVR-S200-R16	192.163.16.12	80	NVR-B5101.36.18.221215			● Not Added	+ ?
<input type="checkbox"/>	NVR501-16B-DT	NVR501-16B-DT	192.163.16...	80	NVR-B3613.36.28.230112			● Not Added	+ ?
<input type="checkbox"/>	NVR501-16B-DT	NVR501-16B-DT	192.163.16...	80	NVR-B3613.36.28.230112			● Not Added	+ ?
<input type="checkbox"/>	UNIVIEW	DC2004-FF	193.44.1.2	81				● Not Added	+ ?
<input type="checkbox"/>	UNIVIEW	DC2004-FF	193.44.1.3	81				● Not Added	+ ?
<input type="checkbox"/>	UNIVIEW	DC2004-FF	193.44.1.4	81				● Not Added	+ ?
<input type="checkbox"/>	UNIVIEW	DC2004-FF	193.44.1.28	81				● Not Added	+ ?
<input type="checkbox"/>	UNIVIEW	DC2004-FF	193.44.1.30	81				● Not Added	+ ?

2. (オプション)ネットワークセグメント、デバイスタイプ、状態などの検索条件を設定し、**Search** をクリックします。
3. デバイスを追加する方法を選択します。
  - 一括でデバイスを追加：追加するデバイスを選択し、**Batch Add** をクリックします。
  - 1つのデバイスを追加：**Operation** 欄の対応する **+** をクリックします。

4. ユーザー名とパスワードを確認し、OK をクリックします。デフォルトのユーザー名/パスワードは、admin/123456 です。デバイスのユーザー名/パスワードを変更してから、ツールへのデバイスの追加が成功した場合、ツールは、記憶していた新しいユーザー名/パスワードを、次のデバイスの再追加時に使用します。
5. 追加が完了すると、ツールはメッセージを表示します。デバイスの追加に失敗した場合は、**View Failure Details** をクリックして失敗の原因を確認します。リスト内の設定を変更して、再度インポートすることが可能です。[ファイルのインポート](#)を参照してください。

## 2.1.2 手動によるデバイスの追加

1. **Add** をクリックします。以下のようなページが表示されます。



The screenshot shows a dialog box titled "Add" with a close button (X) in the top right corner. The dialog contains the following elements:

- Add By:** Three radio buttons are present: "IP" (selected), "IP Range", and "Imported File".
- IP Address:** A text input field containing "0 . 0 . 0 . 0".
- Port:** A text input field containing "80".
- Username:** An empty text input field.
- Password:** An empty text input field.
- Add Offline Device:** A checkbox that is currently unchecked.
- Buttons:** "OK" and "Cancel" buttons are located at the bottom right of the dialog.

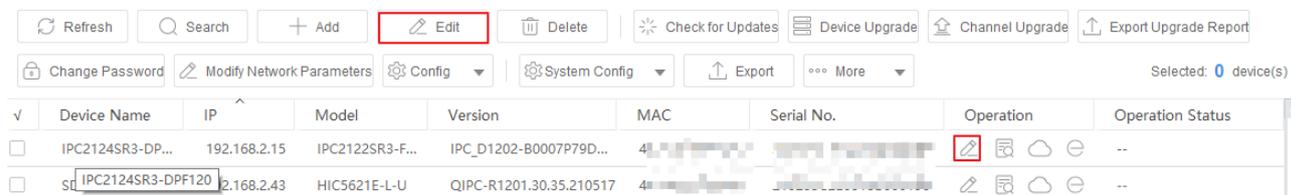
2. デバイスを追加する方法を選択します。
  - IP を使用 : デバイスの IP アドレス、ポート番号、ユーザー名、パスワードを入力し、デバイスを追加します。
  - IP 範囲を使用 : IP 範囲、ポート番号、ユーザー名、パスワードを入力し、IP アドレス範囲内のすべてのデバイスを追加します。
  - ファイルのインポート : **Export** をクリックしてテンプレートをエクスポートし、デバイス情報をテンプレートに入力します。次に、テンプレートをインポートし、ファイルで指定されたデバイスを追加します。インポートが完了すると、メッセージが表示されます。デバイスの追加に失敗した場合は、**View Failure Details** をクリックすると失敗の原因を確認できます。設定を変更して、再度インポートすることが可能です。
3. (オプション) **Add Offline Device** をオンにして、オフラインデバイスをデバイスリストに追加します。デバイスリストにデバイスを追加した際にはデバイス情報を確認できません。デバイスを設定する際にデバイス情報を確認できます。
4. **OK** をクリックします。

## 2.2 基本操作

### 2.2.1 デバイスの編集

ツールで保存されたデバイスのユーザー名とパスワードを編集します。ユーザー名とパスワードは、以降の設定時にデバイスへのアクセスのために使用されます。

デバイスのユーザー名とパスワードを変更する方法を選択します。



- 一括でデバイスを編集：編集するデバイスを選択し、**Edit** をクリックします。ダイアログボックスが現われます。新しいユーザー名とパスワードを入力し、**OK** をクリックします。
- 1つのデバイスを編集：**Operation** 欄で、編集するデバイスの  をクリックします。ダイアログボックスが現われます。新しいユーザー名とパスワードを入力し、**OK** をクリックします。ユーザー名とパスワードを変更すると、デバイスには自動的にログインできません。パスワードが正しいかどうかを確認するには、デバイスを選択し、**Refresh** をクリックしてデバイスの状態を表示します。

### 2.2.2 デバイスの詳細の表示

**Operation** 欄の  をクリックすると、デバイス名、モデル、シリアル番号、バージョン情報、IPアドレスなどのデバイスの詳細が表示されます。

Details		×
Device Name:	HIC5621@DH-FA	
Device Model:	HIC5621	
Serial No.:	: [REDACTED]	
Version:	IPC_Q1203-B0006P30D1806	
MAC:	[REDACTED]	
Port:	80	
IP:	192.168.2.64	
Subnet Mask:	255.255.0.0	
Gateway:	192.168.2.1	

[Close](#)

### 2.2.3 クラウドサービスの設定

クラウドサービスの有効化/無効化、およびサインアップなしの追加機能。

- クラウドサービスを有効にすると、デバイスをクラウドアカウントに追加できます。以降、他のアプリケーションでクラウドアカウントにログインすることによりデバイスを使用できるようになります(アプリケーションセンターを参照)。デバイスを繰り返し追加する必要はありません。
- サインアップなしの追加機能を有効にすると、クラウドアカウントへのサインアップなしで、対応するアプリを使用してデバイスを追加して使用できます。



---

#### 注意！

アプリケーションセンター(アプリケーションセンターを参照)にアクセスして、対応するアプリをダウンロードしてください。

---

Operation 欄の  をクリックします。以下のようなページが表示されます。

Cloud Service (192.168.2.80) ×

EZCloud:  On  Off

Add Without Signup:  On  Off

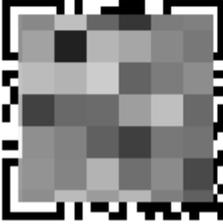
Server Address: [en.ezcloud.uniview.com](http://en.ezcloud.uniview.com)

Register Code:

Username:

Device Status:  Offline

Service Agreement: <http://en.ezcloud.uniview.com/doc/termsofservice.html>

Scan QR Code: 

- デバイスのクラウド(EZCloud)サービスを有効または無効にします。  
クラウドサービスが有効になっている場合、アプリでクラウドアカウントにログインし、アプリを使用してQRコードをスキャンしてデバイスを追加できます。デバイスの状態が「オンライン」と表示されている場合は、デバイスがクラウドサーバーに接続済みで、クラウドアカウントに追加できることを示しています。



**注意！**

クラウドサービスを有効または無効にしたら、**Refresh** をクリックしてデバイスの状態を更新する必要があります。

- デバイスのサインアップなしの追加機能を有効または無効にします。  
有効にした場合、対応するアプリ(アプリケーションセンターを参照)を使用して、その下にあるQRコードをスキャンしてデバイスを追加できます。これにより、クラウドアカウントへのサインアップなしで、携帯電話からデバイスにリモートでアクセスできるようになります。



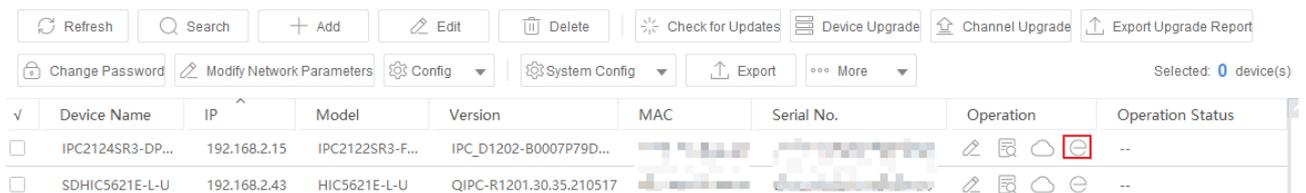
## 注意！

サインアップなしの追加機能を使用するには、デバイス側でクラウドサービスが有効になっていて、強力なパスワードが設定済みである必要があります。

- デバイスの削除: デバイスをクラウドアカウントから削除するには、**Delete** をクリックします。この操作を行ってもツールでのデバイスの使用には影響しません。

## 2.2.4 デバイスの Web インタフェースへのアクセス

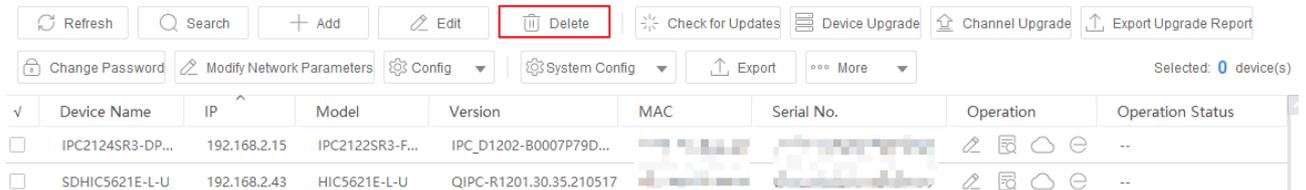
**Operation** 欄の  をクリックすると、デバイスの Web インタフェースでログインページが開きます。



✓	Device Name	IP	Model	Version	MAC	Serial No.	Operation	Operation Status
<input type="checkbox"/>	IPC2124SR3-DP...	192.168.2.15	IPC2122SR3-F...	IPC_D1202-B0007P79D...				--
<input type="checkbox"/>	SDHIC5621E-L-U	192.168.2.43	HIC5621E-L-U	QIPC-R1201.30.35.210517				--

## 2.2.5 デバイスを削除

削除するデバイスを選択し、上部にある **Delete** をクリックするとデバイスがデバイスリストから削除されます。



✓	Device Name	IP	Model	Version	MAC	Serial No.	Operation	Operation Status
<input type="checkbox"/>	IPC2124SR3-DP...	192.168.2.15	IPC2122SR3-F...	IPC_D1202-B0007P79D...				--
<input type="checkbox"/>	SDHIC5621E-L-U	192.168.2.43	HIC5621E-L-U	QIPC-R1201.30.35.210517				--

## 2.3 アップグレード

以下のアップグレードモードを選択して、デバイスまたはチャンネルのバージョンをアップグレードできます。

- テンプレートアップグレード: コンピュータ上のアップグレードパッケージへのパスを指定するテンプレートを使用して、異なるタイプのデバイスをアップグレードします。
- オンラインアップグレード: クラウドからアップグレードパッケージを取得して、さまざまなタイプのデバイスをアップグレードします。
- ファイルアップグレード: アップグレードファイルをアップロードして、同じタイプのデバイスをアップグレードします。

### 2.3.1 アップグレードの設定

同時アップグレードが可能な最大デバイス数とアップグレード期間を設定します。

1. 右上隅の  をクリックします。以下のようなページが表示されます。

Upgrade Config

Max Upgrades

Max. Simultaneous Upgrades: 10

Upgrade Time

Upgrade Time: 2023/6/27 0:00:00 ~ 2023/6/27 23:59:59

Online Upgrade Path

File Path ( [redacted] ) Browse

OK Cancel

2. **Max. Simultaneous Upgrades** と **Upgrade Time** を設定します。

- **Max. Simultaneous Upgrades** : 同時アップグレードが可能なデバイス数を入力します。この数値が大きくなるにつれて、ネットワーク要件も高くなります。デフォルトは 10 です。
- **Upgrade Time** : 選択した場合、指定された時間帯にアップグレードが開始します。選択しなかった場合、すぐにアップグレードが開始します。アップグレード時間帯を指定している場合は、その時間帯にツールが実行中であることを確認してください。実行中ではないと、アップグレードは失敗します。

3. **OK** をクリックします。

## 2.3.2 デバイスのアップグレード

### 1. テンプレートファイル

このモードでは、コンピュータ上のアップグレードパッケージへのパスを含むテンプレートファイルを使用し、これらのアップグレードパッケージを使用してさまざまなタイプのデバイスを一括でアップグレードします。

1. アップグレードするデバイスを選択し、**Device Upgrade** をクリックします。
2. **Template Upgrade** を選択します。

Upgrade

Upgrade Mode  Template File  Online Upgrade  File Upgrade

Export Template

File Path

Note: This mode uses a template that specifies paths to upgrade

Upgrade Config

Max. Simultaneous Upgrades

3. **Export** をクリックして、選択したデバイスに関する基本情報を含むテンプレートをエクスポートします。テンプレートファイルに、コンピュータ上のアップグレードパッケージへのパスを入力します。
4. **Browse** をクリックし、設定済みテンプレートファイルを見つけます。次に、**Open** をクリックしてテンプレートをインポートします。
5. (オプション) **Configure** をクリックします。クラウドサービスの設定を参照してください。
6. **Upgrade** をクリックします。デバイスは、設定されたアップグレード時間帯にアップグレードされます。

## 2. オンラインアップグレード

このモードでは、接続済みデバイスのアップデートを確認し、(アップデートが利用可能な場合)アップグレードパッケージをコンピュータにダウンロードして、さまざまなタイプのデバイスをアップグレードします。

1. アップグレードするデバイスを選択し、**Check for Updates** をクリックします。ツールは、選択したデバイスのアップデートについて確認します。アップデートが利用可能な場合、**Operation Status** 欄に **Upgradable** と表示されます。
2. アップグレード可能なデバイスを選択し、**Device Upgrade** をクリックします。

Upgrade

Upgrade Mode  Template File  Online Upgrade  File Upgrade

Note: This mode obtains upgrade packages from the cloud to upgrade

Upgrade Config

Max. Simultaneous Upgrades 10

Online Upgrade Path

Upgrade Cancel

3. **Online Upgrade** を選択します。
4. **Browse** をクリックし、アップグレードパッケージのダウンロード先を指定します。
5. (オプション) **Configure** をクリックします。クラウドサービスの設定を参照してください。
6. **Upgrade** をクリックします。デバイスは、設定されたアップグレード時間帯にアップグレードされます。

### 3. ファイルアップグレード

このモードでは、アップグレードファイルをアップロードすることにより、同じタイプのデバイスをアップグレードします。

1. アップグレードするデバイスを選択し、**Device Upgrade** をクリックします。
2. **File Upgrade** を選択します。

The screenshot shows a dialog box titled "Upgrade" with a close button (X) in the top right corner. It contains the following elements:

- Upgrade Mode:** Three radio buttons are present: "Template File", "Online Upgrade", and "File Upgrade". The "File Upgrade" option is selected.
- File Path:** A text input field containing a blurred path, followed by a "Browse" button.
- Note:** A text block stating "Note: This mode uploads upgrade files to upgrade devices of the same".
- Upgrade Config:** A section header with a blue vertical bar to its left.
- Max. Simultaneous Upgrades:** A text label followed by a numeric input field containing the value "10".
- Buttons:** Two buttons at the bottom right: "Upgrade" (highlighted in blue) and "Cancel".

3. **Browse** をクリックし、コンピュータ上のアップグレードパッケージを見つけます。
4. (オプション) **Configure** をクリックします。デバイスのアップグレードを参照してください。
5. **Upgrade** をクリックします。デバイスは、設定されたアップグレード時間帯にアップグレードされます。

### 2.3.3 チャンネルのアップグレード

NVR (NVR チャンネルともいいます)に接続されているカメラをアップグレードします。

1. NVR を選択し、**Channel Upgrade** をクリックします。
2. アップグレードするチャンネルを選択し、**OK** をクリックします。
3. チャンネルをアップグレードするための残りの操作は、デバイスのアップグレードの場合と同じです。詳しくはデバイスのアップグレードをご覧ください。

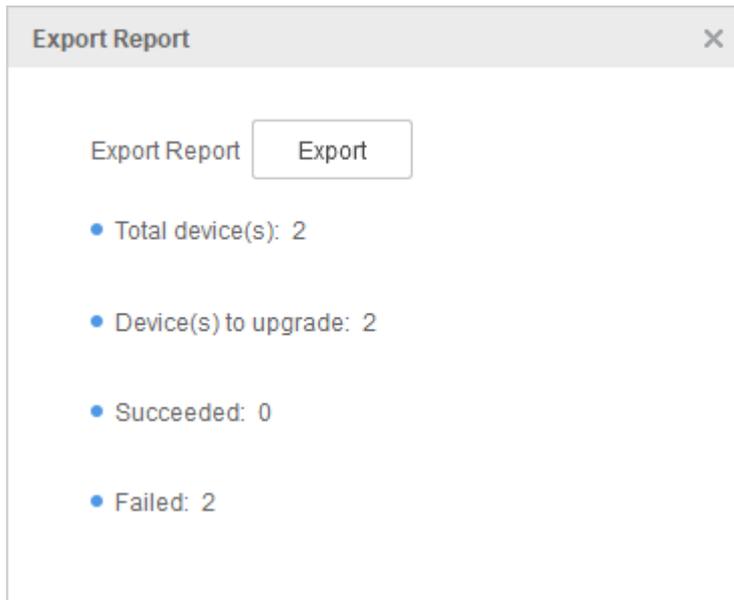
### 2.3.4 アップグレードのキャンセル

アップグレードタスクがスケジュール済みの場合、アップグレード時間が上部に表示されます。タスクをキャンセルするには、その下にある **Cancel** をクリックします。

スケジュール済みアップグレードタスクは1つのみ設定可能です。

### 2.3.5 アップグレードレポートのエクスポート

1. 目的のデバイスを選択し、**Export Upgrade Report** をクリックします。以下に示すような **Export Report** ページが表示されます。
2. 合計デバイス数、アップグレード対象のデバイス数、アップグレードに成功または失敗したデバイス数が表示されます。レポートをエクスポートするには、**Export** をクリックします。



## 2.4 デバイスのパスワード変更

デバイス用のログインパスワードを変更します。パスワードの変更後、デバイスの Web インタフェースにアクセスするには、新しいパスワードを使用する必要があります。

1. 対象デバイスを選択し、**Change Password** をクリックします。



---

### 注意！

複数のデバイスを選択してパスワードを変更する場合は、選択したデバイスのユーザー名と元のパスワードが同じであることを確認してください。

---

2. 以下に示すページで、デバイスのユーザー名、古いパスワード、新しいパスワードを入力します。

Manage Device Password (192.168.2.15)

\* Username

\* Old Password

\* New Password

\* Confirm

Email

OK Cancel

3. (オプション)デバイスの電子メールアドレスを入力します。入力した電子メールアドレスは、デバイスパスワードを忘れた場合のリセットに使用するセキュリティコードの受信に使用できます。デバイスパスワードのリセットを参照してください。
4. **OK** をクリックして新しいパスワードを保存します。

## 2.5 ネットワークパラメータの変更

デバイスのネットワークパラメータの変更は、手動で行うか、または DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)を使用します。

1. **Modify IP** ページを開く方法を選択します。
  - デバイスを選択し、**Modify Network Parameters** をクリックします。
  - **Search** をクリックします。**Search to Add** ページで、IP を変更するデバイスを選択し、**Modify Network Parameters** をクリックします。
2. **Modify IP** ページで、**Static** または **DHCP** を選択します。

Modify IP ( 2 device(s) selected )

Mode:  Static  DHCP

IP Range:  —

Subnet Mask:

Gateway:

IP(old)	IP(new)	Subnet Mask	Gateway	Username	Password	Device Status
192.168.2.64	192.168.2.64	255.255.255.0	192.168.2.1	admin	●●●●●●	Logged in
192.168.2.123	192.168.2.65	255.255.255.0	192.168.2.1	admin	●●●●●●	Logged in

- 静的 : IP (デバイスが複数の場合、IP アドレス範囲を入力)、サブネットマスク、ゲートウェイを入力します。
  - DHCP: IP アドレスは動的に割り当てられます。
3. **OK** をクリックします。**Device Status** 欄をチェックして、変更が成功したかどうかを確認します。

## 2.6 設定

### 2.6.1 基本設定

#### 1. デバイス名

デバイス名を変更します。



#### 注意！

1つのデバイスが選択されている場合にのみ、デバイス名が表示されます。

1. 新しい名前を入力します。

Device Name

2. **Save** をクリックします。

#### 2. 時間

デバイスのタイムゾーンとシステム時刻を変更する方法を選択します。

- 手動による変更 : 手動でタイムゾーンとシステム時刻を変更します。

- コンピュータの時間と同期： **Sync with Computer Time** をクリックして、デバイスのシステム時刻をコンピュータのシステム時刻と同期します。

Time Zone (UTC+00:00)London, Dublin, Lisbon

System Time 2023-6-21 02:04:54 Sync with Computer Time

Auto Update  On  Off

- **Auto Update** の有効化： NTP サーバーのアドレス、ポート、更新間隔を設定して、デバイスのシステム時刻を NTP サーバー時間と自動的に同期します。

Time Zone (UTC+00:00)London, Dublin, Lisbon

System Time 2023-6-21 02:04:54 Sync with Computer Time

Auto Update  On  Off

NTP Server Address 0 . 0 . 0 . 0

NTP Port 123

Update Interval 10m

### 3. ネットワーク

デバイスのネットワーク設定を変更します。



#### 注意！

1 つのデバイスが選択されている場合にのみ、ネットワーク設定が表示されます。

1. IP 取得モード、ネットワークタイプ、IP アドレス、動作モード、サブネットマスク、ゲートウェイを設定します。NVR の場合、ネットワークインタフェースも選択できます。特定の設定オプションについては、実際のユーザーインターフェースにより異なります。

IP Obtain Mode Static IP Address Port Type Copper Port

IP Address 192 . 168 . 2 . 64 Operating Mode

Subnet Mask 255 . 255 . 0 . 0

Gateway 192 . 168 . 2 . 1

2. **Save** をクリックします。

### 4. DNS

ドメインネームサーバーを設定します。

1. メイン DNS サーバーアドレスとサブ DNS サーバーアドレスを変更します。

メイン DNS アドレスは、メイン DNS が適切に機能している場合に使用されます。メイン DNS サーバーが利用できない場合、サブ DNS サーバーのアドレスが自動的にアクティベートされるため、ネットワーク操作が中断されることはありません。

Preferred DNS Server	<input type="text" value="8 . 8 . 8 . 8"/>
Alternate DNS Server	<input type="text" value="8 . 8 . 4 . 1"/>

2. **Save** をクリックします。

## 5. ポート

デバイスポートを設定します。

1. HTTPS ポートと HTTP ポートを変更します。

HTTPS Port	<input type="text" value="443"/>
HTTP Port	<input type="text" value="80"/>

2. **Save** をクリックします。

## 6. SNMP

SNMP は、デバイスの状態の監視を行い、デバイスの故障を特定するために使用されます。

1. **Enable** をクリックして SNMP を有効にします。
2. SNMP タイプ : SNMPv2 または SNMPv3 を選択します。

SNMP	<input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off
SNMP Type	<input type="text" value="SNMPv3"/>
Username	<input type="text" value="admin"/>
Authentication Mode	<input type="text" value="MD5"/>
Authentication Password	<input type="text"/>
Confirm Authentication Password	<input type="text"/>
Encryption Mode	<input type="text" value="DES"/>
Encryption Password	<input type="text"/>
Confirm Encryption Password	<input type="text"/>

➤ (推奨) SNMPv3

ネットワークのセキュリティレベルが低い場合、高いセキュリティレベルの SNMPv3 が推奨されます。SNMPv3 は、ユーザー名とパスワードの認証、および DES 暗号化を使用して、より高いレベルのセキュリティを提供します。

SNMP  On  Off

SNMP Type

Username

Authentication Mode

Authentication Password

Confirm Authentication Password

Encryption Mode

Encryption Password

Confirm Encryption Password

パラメータ	説明
SNMPタイプ	デフォルトはSNMPv3です。
認証パスワード	デバイスから送信されたパケットを検証する際に使用されます。
認証パスワードを確認	認証パスワードを再入力します。
暗号化パスワード	デバイスから送信されるデータを暗号化する際に使用されます。
暗号化パスワードを確認	暗号化パスワードを再入力します。

➤ SNMPv2

SNMPv2 は、ネットワークのセキュリティレベルが高い場合に許可されます。SNMPv2 はコミュニティ文字列認証を使用するため、SNMPv3 よりも安全性は低下します。

SNMP  On  Off

SNMP Type

Read Community

パラメータ	説明
SNMPタイプ	SNMPv2を選択します。セキュリティ上のリスクについて注意を促すメッセージが表示されます。 <b>OK</b> をクリックして続行します。
読み取りコミュニティ	SNMP読み取り専用コミュニティ名を設定し、デバイスからのメッセージを管理側で確認できるようにします。認証が成功すると、そのコミュニティ名を持つSNMPメッセージの受信が可能になります。

## 7. ONVIF

IPC 認証モードを設定します。

Authentication Mode       Standard       Compatible

- 標準：ONVIF 推奨の認証モードを使用します。
- 互換性あり：デバイスの現在の認証モードを使用します。

### 2.6.2 高度な設定

高度な設定には、画像、エンコードフォーマット、OSD、音声、動体検知、IPC/NVR チャンネルのインテリジェントサーバーパラメータが含まれます。表示されるパラメータはデバイスのモデルによって異なることがあります。



#### 注意！

EC エンコーダチャンネルは、画像、エンコード、OSD パラメータの設定のみをサポートします。

### 1. 写真

画像パラメータ(表示効果、画像補正、シーン、露出、スマートイルミネーション、ホワイトバランスなど)を設定します。

#### 操作：

- 表示効果を表示します。画像設定を調整しながらライブビデオを表示できます。調整はすぐに反映されるため、リアルタイムで変更の確認ができます。画像をダブルクリックすると、画面を最大化して全画面表示にできます。もう一度ダブルクリックすると元に戻ります。
- デフォルト設定への復元: **Restore Default** をクリックすると、デフォルト設定へ復元できます。
- 設定の取得: **Get Configuration** をクリックして、デバイスから最新のパラメータを取得します。
- 異なる時間帯に異なるシーンを適用するには、**Mode** ドロップダウンリストから **Multiple Scenes** を選択し、各シーンのシーンタイプ、スケジュール、照度、標高を設定して、**Enable Scene Schedule** を選択します。スケジュール、照度、標高範囲に設定された条件が同時に満たされた場合、選択したシーンが適用されます。条件が満たされない場合、デフォルトのシーン (**Operation** 欄に  が表示されているシーン)が使用されます。**Operation** 欄の  をクリックすると、現在のシーンがデフォルトのシーンとして設定されます。
- チャンネルにコピー：チャンネルの画像設定を他のチャンネルにコピーすることで設定が簡単にできます。**Copy To** をクリックしてパラメータとチャンネルを選択し、**Save** をクリックします。

Current Channel Channel 002

Channels (192.168.2.101)

Parameters 2

All

Image Enhancement    Exposure    Smart Illumination    White Balance

Channel 3

Channel 2    Channel 3    Channel 4    Channel 5

Channel 6    Channel 7    Channel 9    Channel 10

Channel 12    Channel 13    Channel 14    Channel 15

Channel 16    Channel 17    Channel 18    Channel 19

Channel 20    Channel 23    Channel 24    Channel 26

Channel 29    Channel 30    Channel 34    Channel 35

Channel 36    Channel 37    Channel 39    Channel 40

Save 4

Copy To 1

Get Configuration   Restore Default



### 注意！

コピー機能は、プライベートプロトコル経由で接続されているチャンネルにのみ適用されます。

## 2. エンコーディング

キャプチャモード、メイン/サブ/ストリーム 3 などのエンコードパラメータを設定します。

Current Channel: Channel 001

Capture Mode: 2688×1520@60

---

**Main**

Compression: H.265

Resolution: 1920×1080(1080P)

Frame Rate(fps): 60

Bit Rate(Kbps): 1536 [128 ~ 16384]

Bit Rate Type: VBR

Image Quality: Bit Rate Quality  9

U-Code: Advanced Mode

**Enable Third**

Compression: H.265

Resolution: 352×288(CIF)

Frame Rate(fps): 25

---

**Enable Sub**

Compression: H.265

Resolution: 720×576(D1)

Frame Rate(fps): 25

Bit Rate(Kbps): 512 [128 ~ 16384]

Bit Rate Type: CBR

Image Quality: Bit Rate Quality  5

I Frame Interval: 50 [5 ~ 250]

GOP: IP

Smoothing: Clear  Smooth

U-Code: Off

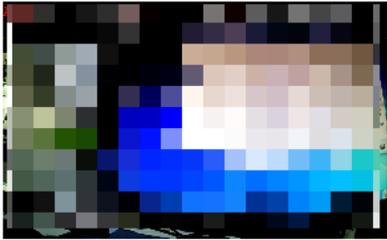
操作：

- 変更を適用するには、**Save** をクリックします。
- 設定をチャンネルにコピーするには：チャンネルのエンコード設定を他のチャンネルにコピーします。チャンネルにコピーを参照してください。

### 3. OSD

OSD パラメータを設定します。OSD とは、ビデオ画像にオーバーレイされるコンテンツ(テキストなど)のことを指します。OSD 設定には、表示効果、チャンネル名、コンテンツスタイル、OSD コンテンツ、表示エリアが含まれます。

Current Channel Channel 001



Display Style

Effect Background

Font Size Medium

Font Color #ffffff

Min.Margin Double

Date Format dd/MM/yyyy

Time Format hh:mm:ss tt

Copy To

√	No.	Position	Overlay OSD Content
<input checked="" type="checkbox"/>	1	Area2	222
<input checked="" type="checkbox"/>	2	Area3	222
<input checked="" type="checkbox"/>	3	Area4	222
<input checked="" type="checkbox"/>	4	Area5	222
<input checked="" type="checkbox"/>	5	Area5	2222
<input type="checkbox"/>	6	Area6	
<input type="checkbox"/>	7	Area7	
<input type="checkbox"/>	8	Area8	

Overlay Area2

X 50 Y 0 Aligning Left



### 注意！

EC エンコーダチャンネルの場合、Channel Name オプションは OSD コンテンツリストでは使用できません。

操作：

- 表示効果を表示します。画像設定を調整しながらライブビデオを表示できます。調整はすぐに反映されるため、リアルタイムで変更の確認ができます。画像をダブルクリックすると、画面を最大化して全画面表示にできます。もう一度ダブルクリックすると元に戻ります。
- OSD の追加または削除：左側で OSD スタイルを調整し、右側のボックスで OSD コンテンツを入力します。OSD コンテンツのチェックボックスは自動的に選択されます。OSD を削除するには、チェックボックスをオフにするか、OSD コンテンツを消去します。
- OSD 位置の調整：各 OSD の位置は調整可能です。右側の行をクリックすると、OSD の座標が表示されます。重ならないように、必要に応じて位置を調整します。
- コピー機能を使用し、NVR チャンネルの OSD 設定を NVR の他のチャンネルにコピーします。チャンネルにコピーを参照してください。

### 4. 音声

音声パラメータ(音声入力、音声入力ゲイン、エンコードフォーマット、サンプリングレートなど)を設定します。



### 注意！

NVR チャンネルは音声設定をサポートしていません。

Audio Input  On  Off

Audio Input Gain  [0 ~ 255]

Encoding Format

Sampling Rate(KHz)

## 5. 動体検知

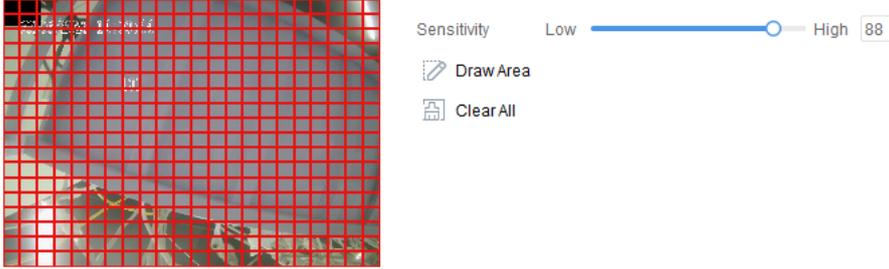
動体検知パラメータを設定します。動体検知は、指定された時間帯の検知エリア内の動体を検知する際に使用されます。動体検知の設定には以下が含まれます。

- 動体検知の有効化または無効化
- 検知エリアの指定
- 警戒スケジュールの設定
- アラームリンクの設定(アラームトリガー動作)

Current Channel

Motion Detection  On  Off

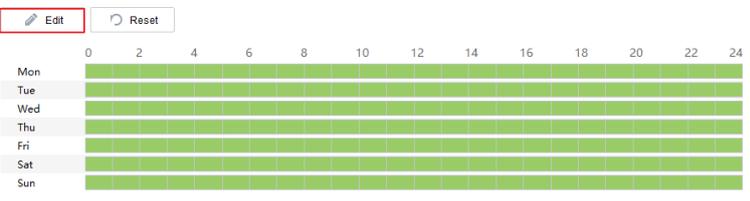
Detection Area    Arming Schedule    **Trigger Actions**



Sensitivity Low  High 88

一部のパラメータを以下に示します。

項目	説明
検知エリア	画像上に描画することにより、検知エリアを指定できます。赤のグリッドは検知エリアを示します。 <b>Draw Area</b> をクリックして描画を開始し、終了したら <b>Finish Drawing</b> をクリックします。
感度	感度が高くなるにつれて、検知可能なピクセルが小さくなり、検知ルールをトリガーしやすくなります。ただし、それに応じて誤報率も高くなります。特定の値については、実際のシーンまたはテストに従って決定してください。

項目	説明
トリガー動作	動体検知アラーム発生時にトリガーされるアクションを設定します。
検知スケジュール	警戒スケジュールを設定します。デバイスは、警戒スケジュール期間でのみアラームを生成します。  <ul style="list-style-type: none"> <li>● 緑のエリアをクリックまたはドラッグして、警戒スケジュールを設定します。</li> <li>● <b>Edit</b> をクリックすると、正確な時間帯を手動で入力できます。設定の完了後、<b>Copy</b> をクリックすると、現在の警戒スケジュールを他の日にコピーできます。</li> </ul>
コピー先	チャンネルの動体検知設定を同じNVRの他のチャンネルにコピーします。チャンネルにコピーを参照してください。

## 6. インテリジェントサーバー

集中管理を行うためにデバイスをインテリジェントサーバーに接続する場合は、デバイスのサーバーパラメータを設定する必要があります。



### 注意！

インテリジェントサーバー設定をサポートしているのは IPC のみです。

通信タイプにより、設定が異なる場合があります。詳細については、以下の説明を参照してください。

#### Intelligent Server

Server IP	0 . 0 . 0 . 0
Server Port	5196
Platform Communication Type	UNV ▼
Camera No.	HIC2641-WH@Z80-VF-B
Device No.	EZIPC0

#### UNV (固定接続)パラメータの説明

項目	説明
カメラ番号	デバイス識別のためにカメラの識別番号を設定します。
デバイス番号	サーバー上でのデバイス識別のためにVIIDコードを設定します。

### Intelligent Server

Server IP

Server Port

Platform Communication Type

Device ID

Username

Platform Access Code

### Video&Image Database Settings

Coordinate Mode

Connection Mode

Report Data Type  Motor Vehicle  Non-Motor Vehicle  Person  Face

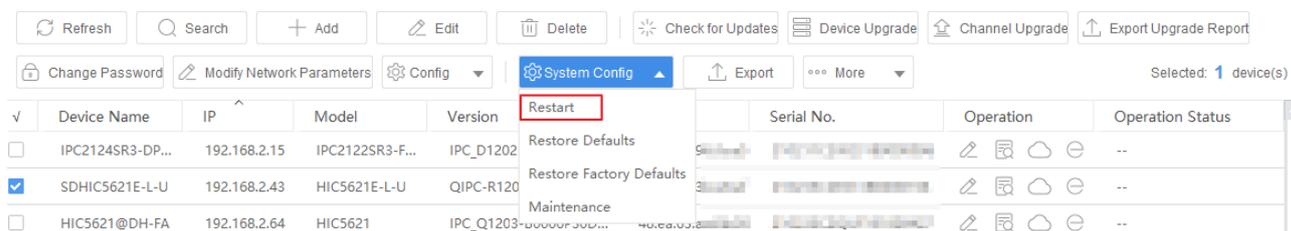
### GA/T 1400 パラメータの説明

項目	説明
デバイスID	プロトコルに準拠した番号を入力します。11~13桁は119にする必要があります。
ユーザー名	上位レベルのプラットフォームにデバイスがアクセスする際に使用するユーザー名。
プラットフォーム アクセスコード	上位レベルのプラットフォームにデバイスがアクセスする際に使用するパスワード。
コーディネート モード	<p>検知目標の座標を示します。パーセンテージモードが推奨されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● (推奨)パーセンテージモード：0~10000 の範囲内で x 軸と y 軸を指定し、それを座標系として使用して画像内の検知目標の位置を決定します。</li> <li>● ピクセルモード：画像内の検知目標の水平および垂直ピクセルの座標を報告して、画像内の検知目標の位置を決定します。</li> <li>● 正規化モード：0~1 の範囲内で x 軸と y 軸を指定し、それを座標系として使用して画像内の検知目標の位置を決定します。</li> </ul>
接続モード	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ショート接続：標準 HTTP プロトコルにより実装され、デバイスと上位プラットフォーム間で使用される接続モードは、上位プラットフォームによって決定されます。</li> <li>● 標準：デバイスが Uniview サーバーに接続されている場合にのみ使用されます。</li> </ul>
データタイプの 報告	報告の対象にするデータのタイプ(モーター搭載車両、非モーター搭載車両、人物、顔)を選択します。

## 2.7 システム設定

### 2.7.1 デバイスの再起動

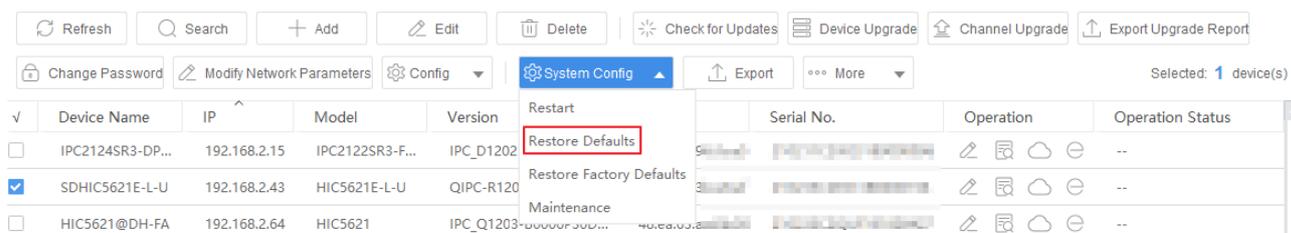
再起動するデバイスを選択し、**System Configuration > Restart Device** をクリックして確認します。



### 2.7.2 デフォルト設定への復元

デフォルトの状態に復元とは、ネットワーク、ユーザー、時間パラメータを除く、デバイスのすべてのパラメータを工場出荷時のデフォルトに復元することを意味します。

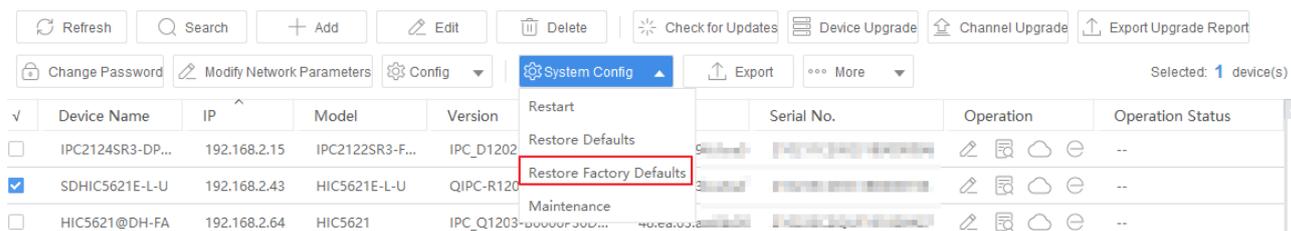
対象デバイスを選択し、**System Configuration > Restore Defaults** をクリックして確認します。



### 2.7.3 工場出荷時のデフォルト設定への復元

工場出荷時のデフォルトに戻すとは、デバイスのすべてのパラメータを工場出荷時のデフォルトに戻すことを意味します。

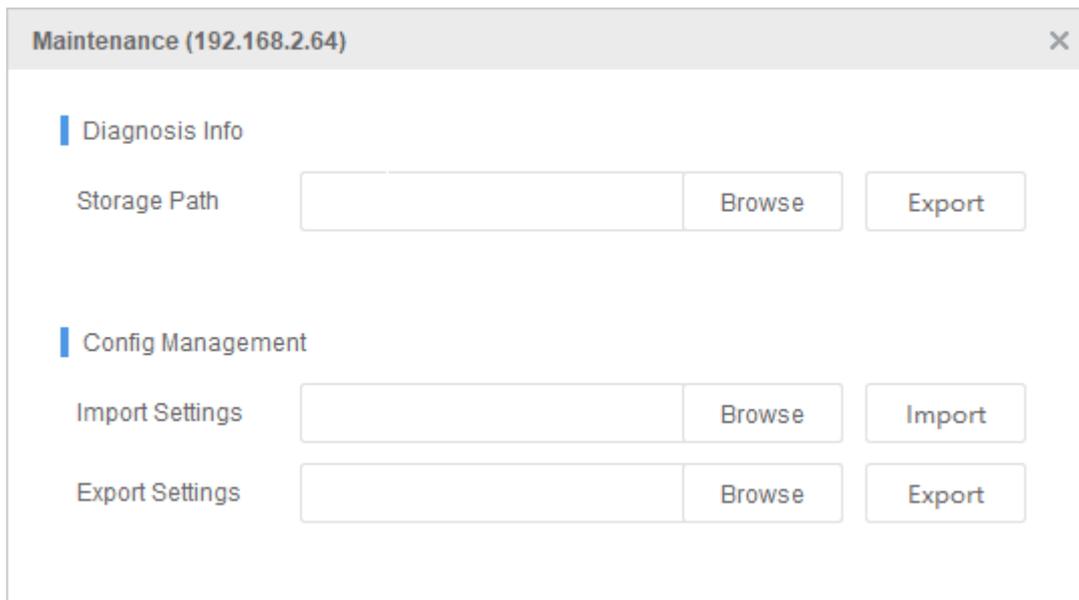
対象デバイスを選択し、**System Configuration > Restore Factory Defaults** をクリックして確認します。



### 2.7.4 デバイスマンテナンス

デバイスマンテナンスでは、デバイス設定のインポートや、診断情報および設定のエクスポートができます。

1. デバイスを選択し、**System Configuration > Maintenance** をクリックします。



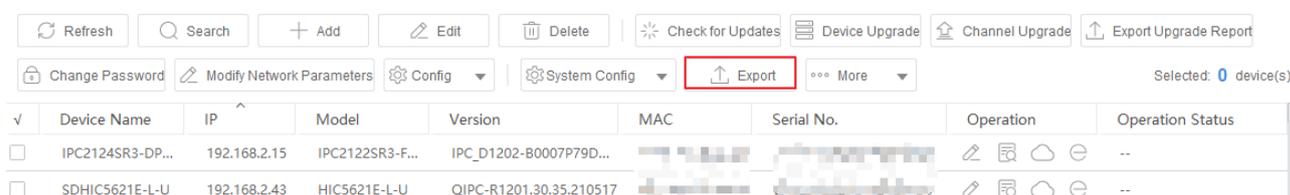
2. 必要に応じて以下の操作を実行します:

- 診断情報(ログ情報やシステム設定情報など)をエクスポートします。**Browse** をクリックして宛先を指定し、**Export** をクリックします。診断情報は、コンピュータ上の指定された場所に.csv ファイルとして保存されます。
- 設定のインポート: デバイスにローカル設定ファイルをインポートし、既存の設定ファイルを置き換えて、デバイスの設定を変更します。**Browse** をクリックして設定ファイルを見つけて、**Import** をクリックします。
- 設定のエクスポート: デバイスのシステム設定ファイルをバックアップ用にローカルフォルダにエクスポートします。**Browse** をクリックして宛先を指定し、**Export** をクリックします。

## 2.8 デバイスリストのエクスポート

デバイス情報(デバイス名、IP アドレス、モデル、バージョン情報、MAC アドレス、シリアル番号など).csv ファイルにエクスポートします。

リストからデバイスを選択し、**Export** をクリックして宛先を選択します。次に、**Save** をクリックし、選択したデバイスの情報をエクスポートします。

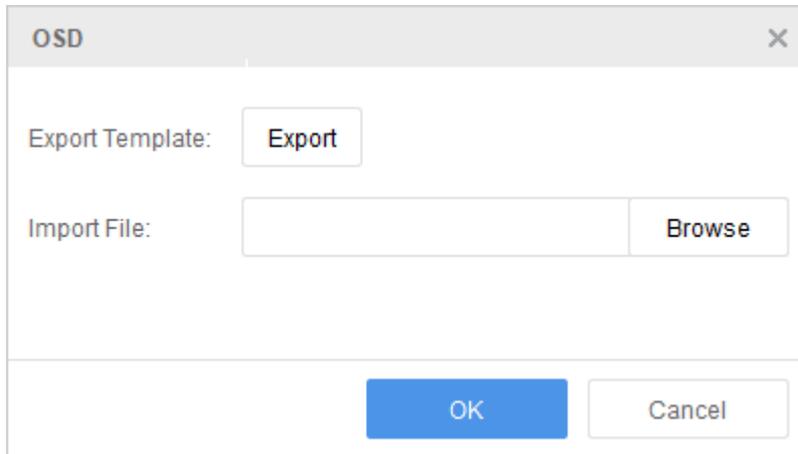


## 2.9 詳細

### 2.9.1 デバイス名の変更

変更されたデバイス名を含む.csv ファイルをインポートし、デバイス名を一括で変更します。まず現在のデバイス名を含むファイルのエクスポートが必要です。

1. 対象デバイスを選択し、**More > Modify Device Name** をクリックします。以下のようなページが表示されます。
2. **Export** をクリックし、選択したデバイスの情報(IP、シリアル番号、デバイスタイプ、デバイス名など)を含むテンプレートファイルをエクスポートします。



The screenshot shows a dialog box titled "OSD" with a close button (X) in the top right corner. It contains two main sections: "Export Template:" with an "Export" button, and "Import File:" with a text input field and a "Browse" button. At the bottom, there are "OK" and "Cancel" buttons.

3. ファイル内のデバイス名を変更し、変更を保存します。
4. **Browse** をクリックしてファイルを選択します。
5. **OK** をクリックします。現在のデバイス名が、インポートされた.csv ファイルに含まれるデバイス名に置き換えられます。

## 2.9.2 OSD の変更

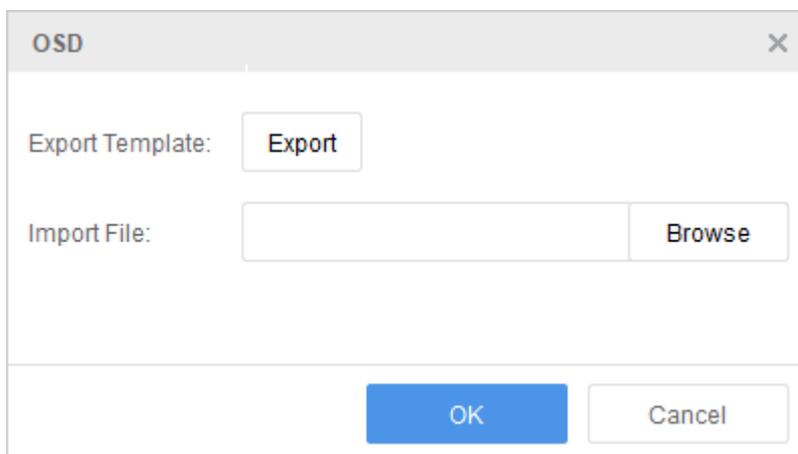
変更された OSD 設定を含む.csv ファイルをインポートし、デバイスの OSD を一括で変更します。まず現在の OSD 設定のエクスポートが必要です。



### 注意！

OSD の一括変更をサポートしているのは IPC と EC エンコーダのみです。

1. 対象デバイスを選択し、**More > Modify OSD** をクリックします。以下のようなページが表示されます。
2. **Export** をクリックして、選択したデバイスの現在の OSD 設定を含むテンプレートファイルをエクスポートします。



The screenshot shows a dialog box titled "OSD" with a close button (X) in the top right corner. It contains two main sections: "Export Template:" with an "Export" button, and "Import File:" with a text input field and a "Browse" button. At the bottom, there are "OK" and "Cancel" buttons.

3. ファイル内の OSD 設定を変更し、変更を保存します。
4. **Browse** をクリックしてファイルを選択します。

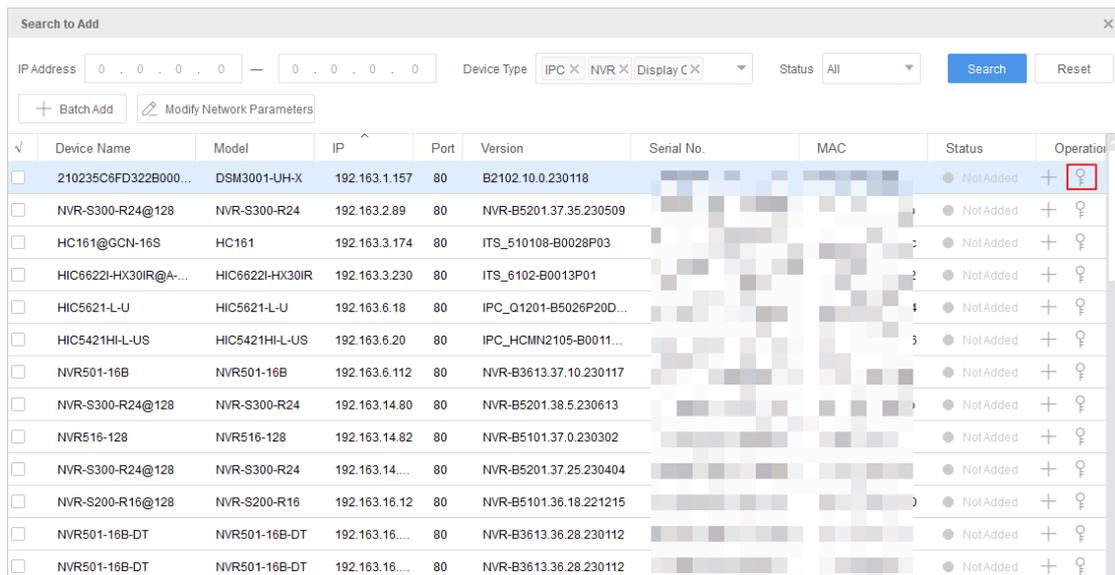
5. **OK** をクリックします。現在の OSD が、インポートされたファイルに含まれる OSD 設定に基づいて変更されます。

## 2.10 その他の操作

### 2.10.1 デバイスパスワードのリセット

デバイスのログインパスワードを忘れた場合にはリセットが可能です。

1. **Search** をクリックします。以下のようなページが表示されます。



✓	Device Name	Model	IP	Port	Version	Serial No.	MAC	Status	Operation
<input type="checkbox"/>	210235C6FD322B000...	DSM3001-UH-X	192.163.1.157	80	B2102.10.0.230118			● Not Added	+ 🔑
<input type="checkbox"/>	NVR-S300-R24@128	NVR-S300-R24	192.163.2.89	80	NVR-B5201.37.35.230509			● Not Added	+ 🔑
<input type="checkbox"/>	HC161@GCN-16S	HC161	192.163.3.174	80	ITS_510108-B0028P03			● Not Added	+ 🔑
<input type="checkbox"/>	HIC66221-HX30IR@A...	HIC66221-HX30IR	192.163.3.230	80	ITS_6102-B0013P01			● Not Added	+ 🔑
<input type="checkbox"/>	HIC5621-L-U	HIC5621-L-U	192.163.6.18	80	IPC_Q1201-B5026P20D...			● Not Added	+ 🔑
<input type="checkbox"/>	HIC5421HI-L-US	HIC5421HI-L-US	192.163.6.20	80	IPC_HCMN2105-B0011...			● Not Added	+ 🔑
<input type="checkbox"/>	NVR501-16B	NVR501-16B	192.163.6.112	80	NVR-B3613.37.10.230117			● Not Added	+ 🔑
<input type="checkbox"/>	NVR-S300-R24@128	NVR-S300-R24	192.163.14.80	80	NVR-B5201.38.5.230613			● Not Added	+ 🔑
<input type="checkbox"/>	NVR516-128	NVR516-128	192.163.14.82	80	NVR-B5101.37.0.230302			● Not Added	+ 🔑
<input type="checkbox"/>	NVR-S300-R24@128	NVR-S300-R24	192.163.14....	80	NVR-B5201.37.25.230404			● Not Added	+ 🔑
<input type="checkbox"/>	NVR-S200-R16@128	NVR-S200-R16	192.163.16.12	80	NVR-B5101.36.18.221215			● Not Added	+ 🔑
<input type="checkbox"/>	NVR501-16B-DT	NVR501-16B-DT	192.163.16....	80	NVR-B3613.36.28.230112			● Not Added	+ 🔑
<input type="checkbox"/>	NVR501-16B-DT	NVR501-16B-DT	192.163.16....	80	NVR-B3613.36.28.230112			● Not Added	+ 🔑

2. 対象デバイスの **Operation** 欄の 🔑 をクリックします。パスワードのリセットページが表示されます。
3. 画面上の指示に従って QR コードをスキャンします。このデバイス用に送信した電子メールアドレスにセキュリティコードが送信されます。セキュリティコードを入力し、**Next** をクリックしてパスワードをリセットします。

### 2.10.2 複数のデバイスの選択

デバイスを1つずつ選択するか、クリックアンドドラッグして複数のデバイスを選択します。合計デバイス数と選択したデバイス数がデバイスリストの上部に表示されます。

### 2.10.3 デバイスリストの更新

現在のページに表示されているデバイス情報を更新するには、**Refresh** をクリックします。または、デバイスを選択し、**Refresh** をクリックして、選択したデバイスの情報を更新します。

### 2.10.4 デバイスのフィルタ

デバイスタイプを選択するか、キーワードを入力して、デバイス名、IP、デバイスモデル、バージョン情報、シリアル番号、動作状態によって、デバイスリストをフィルタリングします。入力したキーワードを消去するには、✕ をクリックします。

Total 31 device(s) English

Device Type: IPC X NVR X Display C X Keyword: Please enter keywords

Refresh Search + Add Edit Delete Check for Updates Device Upgrade Channel Upgrade Export Upgrade Report

Change Password Modify Network Parameters Config System Config Export More Selected: 1 device(s)

✓	Device Name	IP	Model	Version	MAC	Serial No.	Operation	Operation Status
<input type="checkbox"/>	IPC2124SR3-DP...	192.168.2.15	IPC2122SR3-F...	IPC_D1202-B0007P79D...				--
<input checked="" type="checkbox"/>	SDHIC5621E-L-U	192.168.2.43	HIC5621E-L-U	QIPC-R1201.30.35.210517				--
<input type="checkbox"/>	HIC5621@DH-FA	192.168.2.64	HIC5621	IPC_Q1203-B0006P30D...				--

### 2.10.5 デバイスの並べ替え

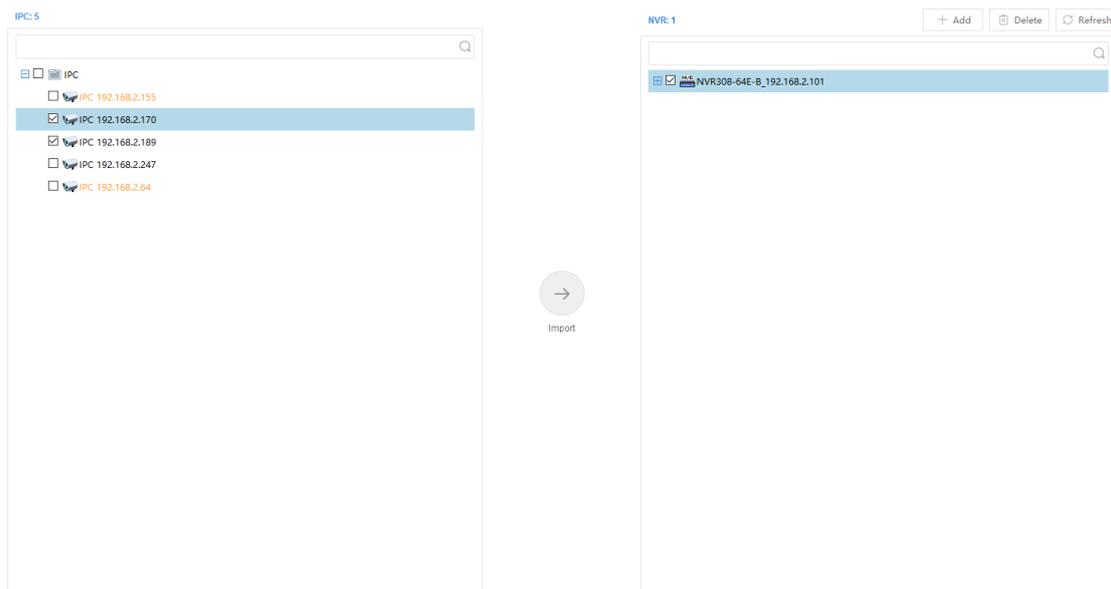
ヘッダー(デバイス名、IP、デバイスモデル、バージョン情報、シリアル番号、動作状態)をクリックして、デバイスリストの欄のコンテンツを昇順または降順に並べ替えます。

## 3 NVR チャンネルの管理

NVR チャンネルを追加または削除します。

### 3.1 NVRチャンネルの追加

1. メインページの NVR チャンネル管理タブをクリックします。
2. NVR チャンネルを追加する方法を選択します。
  - 選択して追加：IPC リストから対象 IPC を選択し、NVR リストから対象 NVR を選択して、**Import** をクリックします。選択した IPC が、指定した NVR にチャンネルとして追加されます。



- 手動による追加：対象 NVR を選択し、**Add** をクリックします。ポップアップページで、追加する IPC の情報を入力し、**OK** をクリックします。IPC が、NVR にチャンネルとして追加されます。



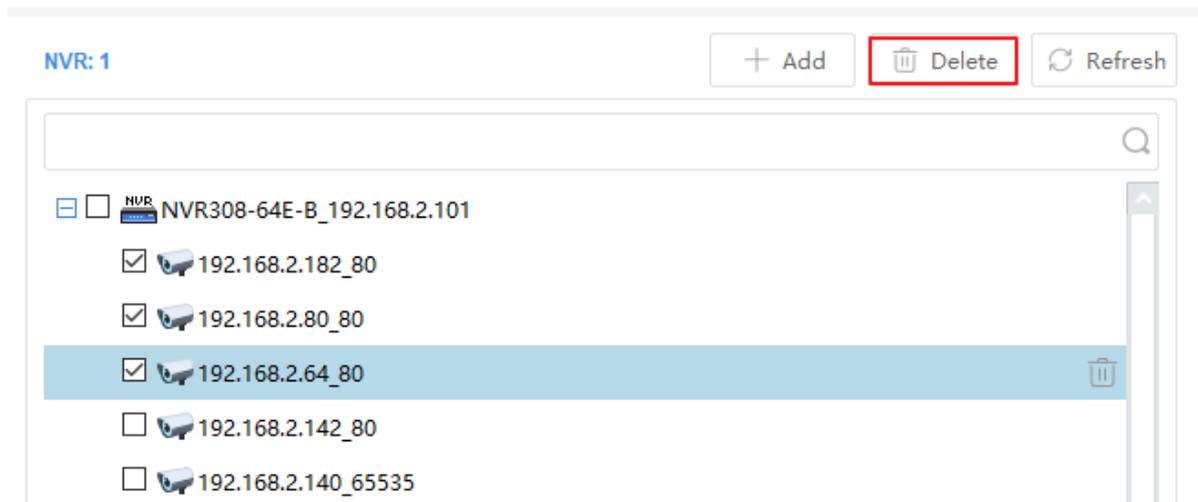
### 注意！

- IPC リスト内のオレンジは NVR に追加された IPC を示します。
- NVR リスト内の青は新規に追加されたチャンネルを示します。

## 3.2 NVRチャンネルの削除

### NVR チャンネルの削除

- チャンネルを一括で削除します。NVR の複数のチャンネルを選択し、**Delete** をクリックします。選択したチャンネルが削除されます。



- 1 つのチャンネルを削除：削除するチャンネルの上にマウスポインタを置いて  をクリックするとチャンネルが削除されます。



## 4 容量の計算

録画可能時間や必要なハードディスク容量を計算することで容量設定が簡単にできます。

### 4.1 計算の対象にするデバイスの追加

1. **Calculation** タブをクリックします。
2. 計算の対象にするデバイスを追加する方法を選択します。
  - **Add** をクリックします。以下に示すページで、必要に応じてパラメータを設定し、**OK** をクリックします。ツールは、指定された設定に基づいて計算を行います。

Add
×

Channel Number

Compression

Resolution

Frame Rate

U-Code

Environmental Complexity

Bit Rate(Kbps)

Best Bit Rate(Kbps)
4096

➤ **Search** をクリックし、計算の対象にするデバイスを選択します。ツールは、選択したデバイスの実際の設定に基づいて計算を行います。

3. 上記のステップを繰り返して、必要なデバイスをすべて追加します。

+ Add
✎ Edit
🗑 Delete
🔍 Search to Add

✓	Compression	Channels	Resolution	Frame Rate(fps)	Bit Rate(Kbps)	Total Bandwidth(Kbps)
☑	H.264	1	1920×1080(10...	25	4096	4096

## 4.2 保持時間の計算

リストからデバイスを選択し、右側にある **Calculate Retention Time** タブをクリックします。**Disk Mode** または **RAID Mode** を選択します。ツールは、選択したモードでの保持時間を計算します。

- **ディスクモード**：毎日の録画時間とディスク容量を設定します。録画可能日数が下に表示されます。

Calculate Days

Calculate Disks

Daily Recording Time:

24 Hour(s)

Space Needed: 42.2 GB

Disk Mode

RAID Mode

Disk Capacity:

2  TB  GB

Usable Space: 1862.6 GB

Recording Time:



- RAID モード: 毎日の録画時間、RAID タイプ(0/1/5/6)、RAID ディスク容量および数量を設定します。録画可能日数が下に表示されます。

Calculate Days

Calculate Disks

Daily Recording Time:

24 Hour(s)

Space Needed: 42.2 GB

Disk Mode

RAID Mode

Disk Capacity:

2  TB  GB

RAID Type: RAID 0

RAID Disks: 1

Usable Space: 1862.6 GB

Recording Time:



### 4.3 必要なディスク数の計算

リストからデバイスを選択し、右側にある **Calculate Needed Disks** タブをクリックします。**Disk Mode** または **RAID Mode** を選択します。ツールは、選択したモードで必要なディスク数を計算します。

- ディスクモード：保持日数、毎日の録画時間、ディスク容量を設定します。必要なディスク数が下に表示されます。

Calculate Days

Calculate Disks

Retention Time:

1 Day(s)

Daily Recording Time:

24 Hour(s)

Space Needed: 42.2 GB

Disk Mode

RAID Mode

Disk Capacity:

2  TB  GB

Disks Needed:

Usable Space: 1862.6 GB



- RAID モード: 毎日の録画時間、保持日数、RAID ディスク容量、RAID タイプを設定します。必要な RAID ディスク数が下に表示されます。

Calculate Days **Calculate Disks**

---

Retention Time:  
 Day(s)

Daily Recording Time:  
 24 Hour(s)

Space Needed:42.2 GB

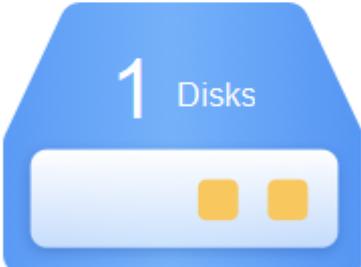
---

Disk Mode  **RAID Mode**

Disk Capacity:  
  TB  GB

RAID Type:

RAID Disks:      Usable Space: 1862.6 GB



## 4.4 その他の操作

計算の対象に追加したデバイスを編集または削除します。

### 編集

1. 編集するデバイスを選択した後、Edit をクリックします。

✓	Compression	Channels	Resolution	Frame Rate(fps)	Bit Rate(Kbps)	Total Bandwidth(Kbps)
<input checked="" type="checkbox"/>	H.264	1	1920×1080(10...	25	4096	4096

2. 必要に応じてパラメータを変更します。
3. **OK** をクリックします。

## 消去

削除するデバイスを選択し、**Delete** をクリックします。

# 5 アプリケーションセンター

---

アプリケーションセンターは、弊社の他のアプリケーションをユーザーが簡単にダウンロード、インストール、アップグレードできるポータルを提供します。